

# 関西大学Aリーグ 第7節 メンバー表

2014/12/06  
14:05 Kick Off  
西京極

立命館大学			同志社大学		
合計	前半	後半	前半	後半	合計
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
吉川 浩司(関西協会)
アシスタントレフリー
西村 純(関西協会)
新久 飛鳥(関西協会)
三井 健太(関西協会)

立命館大学							
監督		中林 正一					
No.	Pos.	氏名	学年	身長	体重	出身校	在籍学部
1	PR	渡邊 彪亮	1	165	102	大阪桐蔭	経済
2	HO	高島 忍	4	170	100	立命館宇治	スポーツ健康科
3	PR	西村 颯平	4	178	110	伏見工業	スポーツ健康科
4	LO	清水 亮佑	2	182	93	日川	スポーツ健康科
5	LO	杉下 暢	4	183	101	立命館	経営
6	FL	南 友紀	3	172	85	筑紫	スポーツ健康科
7	FL	小原 稜生	3	180	87	京都成章	経営
8	No.8	中村 優樹	4	176	96	立命館宇治	理工
9	SH	後藤 大	4	167	73	東福岡	経営
10	SO	山中 駿佑	4	176	85	報徳学園	スポーツ健康科
11	WTB	三島 藍伴	2	173	85	摂津	経営
12	CTB	市原 淳平	4	176	86	県立芦屋	経営
13	CTB	山田 一輝	1	176	84	東海大仰星	経済
14	WTB	蔵田 知浩	3	178	84	報徳学園	経済
15	FB	宮田 遼	3	176	86	尾道	理工
16	Re.	原山 光正	3	176	100	立命館宇治	経営
17		大崎 雄広	4	178	110	神戸科学技術	スポーツ健康科
18		藤野 佑磨	1	181	107	報徳学園	経営
19		和田 健吾	3	181	97	東福岡	スポーツ健康科
20		坂本 潤併	3	175	95	立命館慶祥	スポーツ健康科
21		西山 尚宏	4	172	74	立命館宇治	スポーツ健康科
22		福士 周太	2	177	89	盛岡第一	スポーツ健康科
23		橋川 征悟	3	165	75	尾道	経営

同志社大学							
監督		山神 孝志					
No.	Pos.	氏名	学年	身長	体重	出身校	在籍学部
1	PR	北川 賢吾	4	178	115	東福岡	スポーツ健康科学
2	HO	東 大樹	3	178	92	同志社香里	スポーツ健康科学
3	PR	才田 智	3	181	119	東福岡	社会
4	LO	山田 有樹	2	180	92	常翔学園	社会
5	LO	森山 雄	4	190	100	富山第一	商
6	FL	土井 祐紀	4	174	90	常翔啓光学園	社会
7	FL	田淵 慎理	4	180	100	天理	社会
8	No.8	秦 啓祐	2	182	90	小倉	心理
9	SH	大越 元気	2	162	67	茗溪学園	商
10	SO	渡邊 夏燦	3	178	85	クリストチャーチホーイス	社会
11	WTB	宮島 裕之	4	181	90	飯田	スポーツ健康科学
12	CTB	木村 洋紀	4	175	86	関東学院	法
13	CTB	石田 幹太	2	180	88	同志社	商
14	WTB	松井 千士	2	183	83	常翔学園	スポーツ健康科学
15	FB	崎口 銀二郎	2	177	82	大阪桐蔭	経済
16	Re.	中尾 湧馬	2	173	93	東福岡	社会
17		海士 広大	2	172	101	常翔学園	商
18		長坂 宗一郎	4	175	105	日川	法
19		山崎 翔太	1	172	85	筑紫	社会
20		末永 健雄	2	178	92	福岡	社会
21		岩村 昂太	3	181	87	東福岡	スポーツ健康科学
22		垣内 悠輔	4	175	85	東海大仰星	商
23		高井 勇貴	1	170	72	福岡	スポーツ健康科学

### 【立命館大学 vs 同志社大学 の見どころ】

ここまで4勝2敗の同志社大学は、強力フォワードが不完全燃焼だ。大学屈指のフロントローが爆発的な威力を発揮することが少なく、また、切り札であるWTB松井も各チームから完全にマークされてしまった。リーグ最終戦では、これまでチームをけん引してきたフォワード3列がフィジカルの強さを活かしてチャンスを作り、HB団がバックラインの潜在力を引き出せば、圧倒的な攻撃力が開花するだろう。

一方の立命館大学は、ここまで3勝2敗1引き分け。前年に活躍した卒業生に代わる選手の登場が待たれたが、苦戦が続き、前節の京都産業大学戦でやっと前に出るプレーができるようになった。よく走るフォワードが接点の攻防を制したら、宮田、蔵田の両WTBがゲインラインを越えていこう。同志社大学は、立命館大学のしつこいディフェンスに根負けせずスコアを重ねられるか。

立命館大学は、同志社大学が一瞬見せるディフェンスの際にマイボールを運ぶことができるか。僅かなミスも許されないハードな試合になるだろう。11月30日で関西大学Aリーグの優勝は関西学院大学に決まり、最終戦の勝者は3位となる。単なる3位決定戦ではなく、長い歴史を誇る「同立戦」の一戦として、全身全霊のプレーを期待したい。

(関西大学ラグビーリーグ委員長 高見澤 篤)